

- 問1 現代社会において、交通網や通信技術の発達により、人、商品、資本（お金）、情報などが国境を越えて地球規模で活発に移動し、世界の一体化が進む現象を何といいますか。 （2025年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 少子高齢化                      2. グローバル化                      3. 情報化                      4. 多文化共生
- 
- 問2 都市計画において、駅周辺の交通渋滞を解消するために新しく道路を建設する際、道路の上空にビルを建てることを認める特別な制度を活用する事例があります。このように、土地という限られた資源を有効に活用し、利便性を維持しながら渋滞も解消するなど、社会全体でより大きな成果を得ようとする考え方を何といいますか。 （2026年 広島県公立入試 類似）
1. 持続可能性                      2. 公正                      3. 効率                      4. 機会均等
- 
- 問3 日本国憲法が制定された当初は想定されていませんでしたが、その後の高度経済成長期における公害問題や都市化の進行を背景に、健康で文化的な生活を送るために良好な環境を求める権利が主張されるようになりました。このような、時代の変化に伴い保障されるべきと考えられるようになった権利を何と呼びますか。 （2020年 静岡県公立入試 類似）
1. 環境権                      2. 参政権                      3. 団結権                      4. 請求権
- 
- 問4 現代の情報社会において、企業がコンピュータやネットワークなどの情報通信技術を活用し、広範囲の対象に対して効率よく情報を発信したり、広告活動を展開したりすることを可能にする技術を何と呼びますか。 （2019年 山口県公立入試 類似）
1. バイオテクノロジー                      2. ICT（情報通信技術）                      3. 知的財産権                      4. CSR（企業の社会的責任）
- 
- 問5 核家族化が進行した現代の日本社会において、家族の形態が変化したことによる社会的な課題や現象について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2019年 徳島県公立入試 類似）
1. 都市部から農村部への移住が活発になり、三世代世帯が再び増加している。                      2. 核家族の増加によって、地域の伝統的な行事や連帯感がより強固になった。                      3. 少子高齢化の影響もあり、育児や介護を家族内だけで支えることが困難になっている。                      4. 平均世帯人数の増加により、住宅不足が深刻な社会問題となっている。
- 
- 問6 文化祭の出し物を決める際、3つのクラスのうち2つのクラスではそれぞれ「演劇」が最も多くの票を集めました。学年全体の全生徒の票を合計すると「合唱」を希望する票が「演劇」を上回っていました。このように、どのような単位で票をまとめるかによって結果が変動し得るといふ多数決の性質を考慮した際、民主的な意思決定において最も重視されるべき姿勢はどれですか。 （2024年 長崎県公立入試 類似）
1. 合意形成を容易にするため、あらかじめ少数の代表者のみで内容を決する姿勢                      2. 集計単位によって結論が異なる可能性を認識し、少数派の意見を尊重して十分な話し合いを行う姿勢                      3. 多数派の意見が常に正しいと判断し、反対意見を述べる機会を制限する姿勢                      4. 結論を急ぐため、最も大きな集団で一度だけ採決を行い、その結果を絶対とする姿勢
- 
- 問7 日本の社会指標に関する統計において、1世帯あたりの人員は1964年の4.05人から、2020年には2.27人へと大幅に減少しています。このように、世帯の規模が縮小し、一人暮らしの世帯が増加している背景にある、現代日本の社会的な要因として最も適切なものはどれですか。 （2023年 神奈川県公立入試 類似）
1. 労働基準法の改正にともない、労働時間が短縮され、家庭で過ごす時間が長くなったこと。                      2. 地方から都市部への人口流入が収まり、地方における一世帯あたりの人員が増えたこと。                      3. 高度経済成長期にみられた、親と子、孫が共に暮らす三世代世帯の急増。                      4. 少子高齢化の進展や、未婚・離別の増加といったライフスタイルの多様化。
- 
- 問8 日本国憲法には直接の明文規定はありませんが、社会の変化に伴い「新しい人権」として認められるようになった権利があります。プライバシーの権利が、憲法第13条の「個人の尊重」を根拠として保障される際に、直接の拠り所となっている考え方はどれですか。 （2025年 和歌山県公立入試 類似）
1. 幸福追求権                      2. 生存権                      3. 参政権                      4. 知る権利
- 
- 問9 1980年代後半から2000年代後半にかけての、日本における第一子出産前後の女性の働き方の変化について述べた文として、統計的な傾向と一致するものはどれですか。なお、この期間において、育児休業を取得して仕事を継続した割合は5.7%から17.1%に上昇し、出産を機に退職した割合は37.4%から43.9%に推移したものとします。 （2016年 茨城県公立入試 類似）
1. 正規雇用で働く女性の割合が爆発的に増加したため、出産後も育児を取らずに働き続けることが一般的となった。                      2. 仕事と育児の両立支援が進んだ結果、第一子出産時の女性の平均年齢は1980年代よりも低下する傾向にある。                      3. 育児休業制度の普及にともなって、出産を理由に仕事を辞める女性の割合は1980年代に比べて大幅に減少した。                      4. 育児取得による仕事継続の割合が増加している一方で、出産退職を選ぶ女性の割合も依然として高い水準にある。
- 
- 問10 プライバシーの権利は、近年では「自分の情報をコントロールする権利」として捉えられています。このように権利の捉え方が変化し、重要性が高まった背景として最も適切なものはどれですか。 （2021年 群馬県公立入試 類似）
1. 国民が政治に参加するために、国や地方公共団体が持つ情報の開示を求める必要性が生じたため。                      2. 個人の表現の自由を守るために、他人の容姿を無断で撮影することを法的に制限する必要が生じたため。                      3. 裁判において個人の尊厳を守るために、裁判員制度などの新しい制度を導入する必要があったため。                      4. コンピュータやインターネットが普及し、個人情報が大量かつ瞬時に収集・拡散されるようになったため。
- 
- 問11 山形県では、交差点の案内標識を、日本語のみの表記から英語の表記やピクトグラム（視覚記号）を追加した表記へと変更する取り組みが行われています。例えば、「東根温泉口」という日本語のみの表示だった標識が、英語の「Higashine Onsen Ent.」と温泉マークの図記号を添えたものに掛け替えられました。このような公共インフラの整備を進める背景にある、現代社会の動向として最も適切なものはどれですか。 （2026年 山形県公立入試 類似）
1. 地域の景観を改善することで、周辺にある重要文化財の指定を維持・保護する活動を強化するため。                      2. グローバル化が進展し、インバウンドによる外国人宿泊者数が増加する中で、誰もが円滑に移動できる環境を整えるため。                      3. 高度情報通信ネットワーク社会の進展に伴い、すべての標識を電子化して情報を瞬時に更新するため。                      4. 山形県から海外へ向かう旅行者数が増加し、県民の国際感覚を養う必要が生じたため。
- 
- 問12 インターネットやテレビ、新聞などの多様なメディアから送られてくる情報を、そのまま鵜呑みにするのではなく、客観的な視点で批判的に読み取って活用する能力を何といいますか。 （2016年 和歌山県公立入試 類似）
1. 知的財産権                      2. メディアリテラシー                      3. 情報モラル                      4. プライバシーの権利